

誰もが安心して通行できるまちに

提案決定 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」の審議結果がまとまりました。委員の意見から生まれた取組提案の内容を紹介します。

なぜ、今、このテーマ？ → 中原区の現状・課題

- 生活の中に自転車…平坦な地形で、自転車が区民の足。複数台所有している家庭も多い
- 区民の多様化…人口増加が進み、相互理解が住みやすさへの鍵
- 交通事情を巡る変化…自転車事故の増加・深刻化、道路交通法改正による自転車の取締強化
- 中原区特有の交通問題…商店街の買い物客等の短時間駐輪対策、ベビーカーのマナー問題など


審議テーマに込められた想い・ねらい

地域コミュニティ…地域の融合・活性化は中原区の普遍のテーマ（継続）

みんなで…多様な区民（商店や企業なども含む）が一丸となって、取り組む

交通マナーを育む…区民の相互理解・思いやりのマナーを育てる

歩きやすく、住みやすいまち…誰もが気持ちよく暮らせるまちの実現



取組 1 **交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大**
多様な世代の区民が正しい交通ルール・マナーを学ぶ機会を増やす取組


世代や対象に応じた啓発機会の拡大

- 子どもとその保護者：保護者参観日、家庭教育学級などの「場」を捉えた取組の展開
- 高齢者：老人会などで企画する交通安全教室の推進、開催の支援
- 現役世代：企業や事業者等への参加・協力の呼びかけ、連携

スケアードストレート方式の交通安全教室の拡大

- 対象者の拡大（現在は主に小中高生対象）や回数の増加（現在年 3 回）
- 会場提供等の協力依頼、参加呼び掛けなど企業・事業者との連携
- 多くの区民が参加・体験しやすい日時・会場設定
- 深刻な事故事例や区内事故件数など実態の広報

スケアードストレート方式＝スタントマンにより交通事故を再現し、恐怖を実感することで、自転車の乗り方等ルールとマナーの大切さを学び事故につながる危険行為を未然に防ぐための教育手法



取組 2 **「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用**
分かりやすい、読みやすい、中原区らしい資料で交通マナーを啓発する取組

啓発標語の募集、ポスターコンテストの開催

- 一般参加のコンテスト形式で標語やポスターの募集、夏休みの作品募集、川柳の募集など
- 交通安全運動などで募集する標語やスローガン、中原区まちづくり推進委員会作成の「マナー・モラルアップポスター作品集」など既存作品・コンテストの活用・連携
- 表彰式・展示会の開催による多くの区民に向けた周知・広報

啓発資料の作成

- イラスト等を活用した外国人市民等にも分かりやすい、読みやすい、中原区らしい資料の作成
- しおり・マグネットや路面表示など、実現性を踏まえて目に留まる・残る資料の検討
- 学校や、区民の集まるイベントで配布するなど行き渡る配布方法の検討


ベビーカー利用のマナーや周囲のベビーカーへの配慮・啓発資料の作成

- 国交省「公共交通機関におけるベビーカー利用に関する協議会」の資料の活用
- ベビーカー利用者にマナーを促す資料の作成、子育てサロンや乳幼児健診等で配布
- ベビーカーへの配慮を促す資料の作成、駅周辺、子育て施設、商業施設等で掲示

取組 3 **「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント**
啓発・学習の機会を拡大し、“みんな”で交通マナーを育む取組

普及啓発を推進するしくみづくり・キャンペーンの展開

- サイクルの日（3/19）、二輪の日（20日）など普及啓発の強化期間の設定
- 上記強化期間に合わせた一斉活動・広報等の展開
- 地域イベントに参加、PR等に協力していただく広報大使の任命



発表・交流の場の創出

- 取組内容・成果の周知による新たな体験機会の創出
- 区民祭や区民会議市民報告会、交通安全週間など、既存のイベントで出展や発表

自転車安全点検などの実施

- 自転車販売業者との連携によるイベント等でのタイヤ・ブレーキ・ライトの安全点検の実施
- 「点検済シール」「安全運転宣言」など、啓発シールの作成・配布
- 自転車保険会社との連携などによる自転車保険加入の促進

